



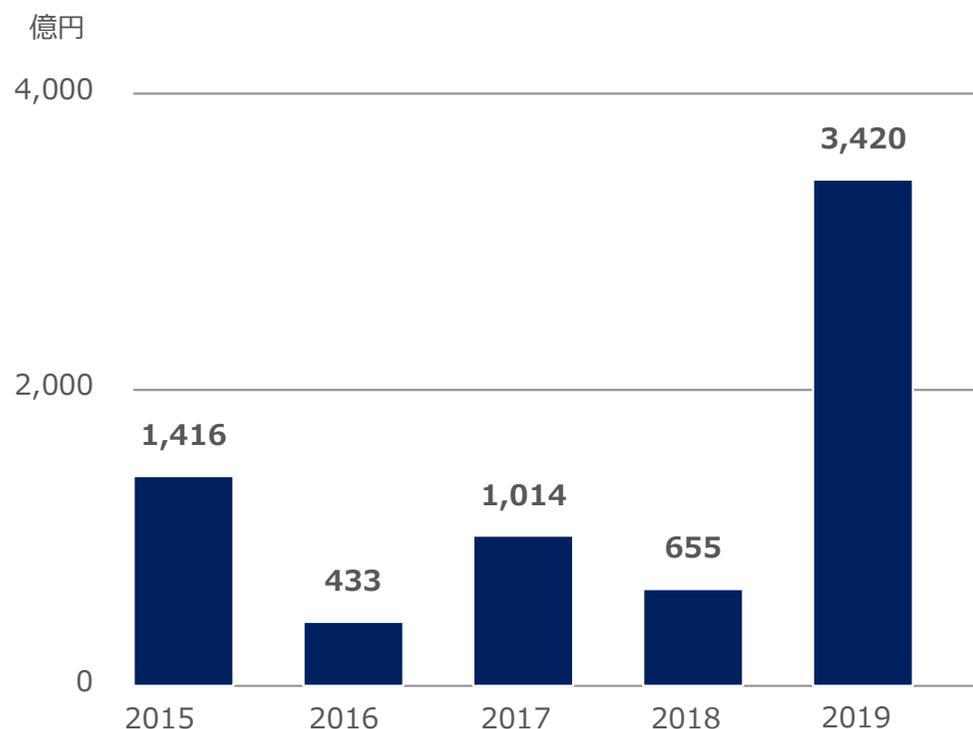
三井海洋開発株式会社
2019年12月期 第3四半期
決算補足説明資料

2019年11月1日

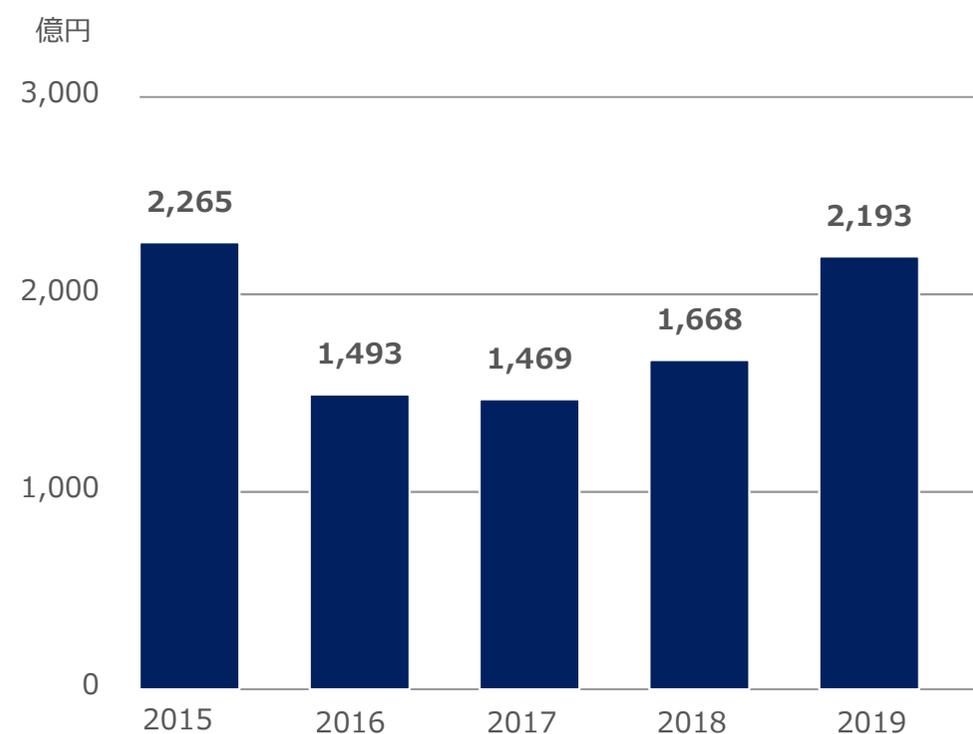


2019年12月期 第3四半期：業績の概況

受注高



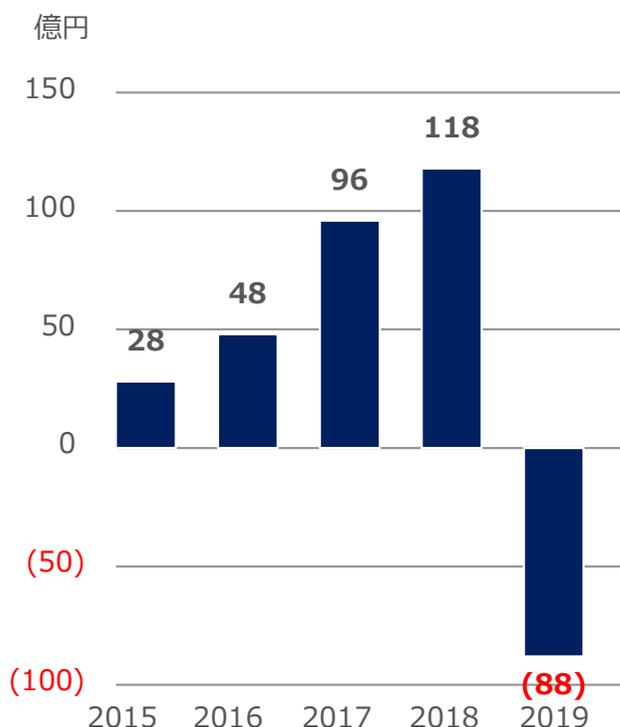
売上高



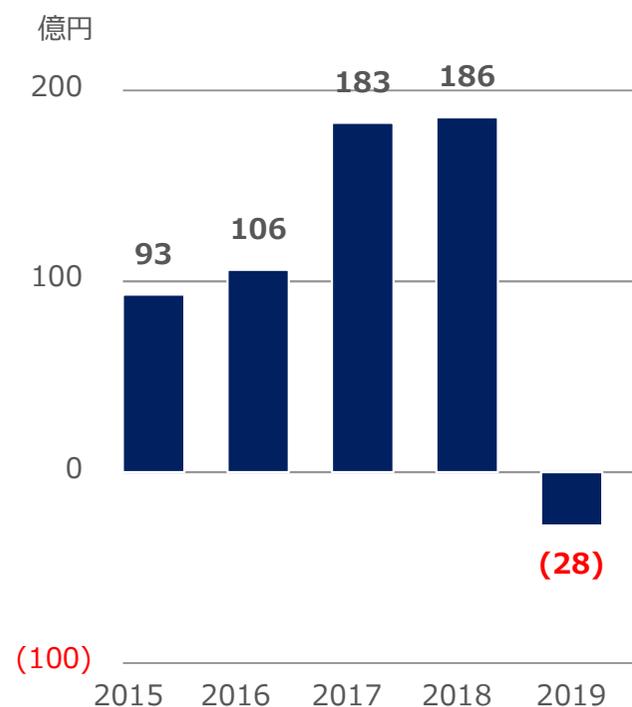
- 受注高は、3,420億円。10月にプレスリリースしたブラジルMarlim鉱区向けFPSOの建造及びチャーター契約及びBarossa鉱区向けFPSO建造プロジェクトの受注は第4四半期に計上予定。
- 3件の建造工事の進捗により売上は前年より増加

2019年12月期 第3四半期：業績の概況

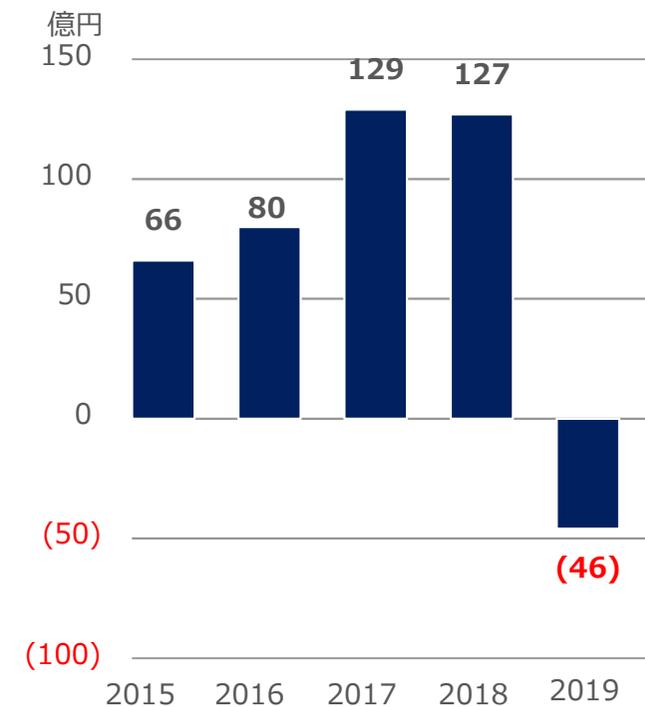
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



- メキシコ向けFPSOの建造工事において受注工事損失引当金約80億円を追加計上したこと等により営業損失を計上
- 営業損失に加え、持分法適用関連会社においてプロジェクトボンド発行時に銀行借入にかかる金利スワップを解約した際、金利の想定以上の低下により解約違約金等のコストが増加したこと等により第3四半期末では経常損失および親会社株主に帰属する四半期純損失を計上

2019年12月期：業績予想

単位: 億円	前回予想* (A)	今回予想 (B)	増減 B-A	前期実績
売上高	3,500	3,200	△300	2,219
営業利益	80	△60	△140	149
経常利益	180	20	△160	287
親会社株主に帰属 する当期純利益	120	0	△120	218

* 2019年2月5日公表

- 売上高は、新規プロジェクトの受注が当初の前提から遅れたことから計画を下回る見通し
- 売上高の減少に伴う利益の減少に加え、第3四半期までの業績を踏まえ営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益予想も下方修正